

## 賛 助 会 員

**有限会社浜野顕微鏡** (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

**神協産業株式会社** (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

**理研食品株式会社** (〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

**共和コンクリート工業株式会社** (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

**株式会社KANSOテクノス** (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

**株式会社日本港湾コンサルタント** (〒141-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

### 編集後記

年 3 号の背表紙に文字が読める厚さをキープするべく、各号に報文 10 本を目標に掲げて頑張ってきたつもりですが、最後まで自転車操業状態が続き、読み応えのある分厚い号はいくつ作れたのか、最後まで納得いく掲載報文数には届かなかった様に思います。投稿数が少ないと、掲載数も少なくなり、掲載論文が少ないと、さらに投稿を控えてしまうという負のスパイラルに和文誌「藻類」は陥っているのかもしれない。現在は年 3 号を発刊していますが、年 2 号、あるいは年 1 号という状態が近づいている様にも感じます。編集委員長を退

いても、あと数年は編集委員として和文誌の発刊に向けた仕事をさせていただくことになりそうですので、今後も充実した内容の和文誌「藻類」を目指していく所存です。最後に、委員長として、「会員の皆様のより一層のご投稿、できれば年 1 報のご投稿を切にお待ちしております」と申し上げて、岩滝先生にバトンタッチしたいと思います。編集委員の先生方におかれましては、不甲斐ない委員長をよく支えていただきました。3 年間本当にありがとうございました。

(芹澤 如比古)

**表紙** タマジュズモの隔壁形成において、液胞側へ陥入する原形質膜の最先端に位置する刷毛状微小管

**制作者:** 関田 諭子

**制作者より:** タマジュズモはアオサ藻綱シオグサ目に属する海産の多核緑藻である。個々の核分裂は細胞質分裂によって引き継がれない。細胞分裂は母細胞の側壁の全周から液胞へ向かってカメラの絞りが閉じるように求心的に発達する隔壁形成による。隔壁形成中の細胞を固定し、間接蛍光抗体法によって微小管を観察したところ、カメラの絞りに相当する隔壁中央部の丸い穴の縁に夥しい数の短い刷毛状の微小管が出現することが明らかになった。この刷毛状の微小管は、その出現時期や分布部位、微小管破壊剤による隔壁形成阻害効果などから、タマジュズモの隔壁形成に関与する独特の細胞質分裂装置の一部であることが示唆された。